

「ドンドン語ろう！ in清水」 平成29年10月27日 清水まちづくりセンター 意見交換内容 参加者：48名

No.	ご意見	回答	局	担当課
1	<p>○八景水谷公園について 地域課題として、八景水谷公園についてであるが、私は30年以上公園に通っている。かなり荒れてきており、25～30年前までは梅雨時にヘドロ除去を行っていたが、それを行っていないので水の汚れがひどい。老人会の方が何回かされたと思うが、一人ではとてもできるような状態ではない。 熊本市は江津湖に対して補助をしていると思うが、少しは八景水谷公園もみていただきたい。</p>	<p>【市長】 江津湖だけでなく、八景水谷公園の整備は必要だと思う。今回の地震で皆、水の問題で苦しんだ。水道が市内全域で断水することは熊本市で初めてであった。このような事態に直面して初めて水のありがたみが分かった。 湧き水があるところを綺麗にしていき、それを皆さんにもっと見ていただこうと思う。</p> <p>【北部土木センター長】 ・ヘドロの問題については、平成22年からご意見をいただいていた。当時は公園課、現在は河川公園整備課が行っている。原因もさることながら、対処法等検討してなるべく早く実施していく。</p> <p>【意見交換後の対応状況：北部土木センター河川公園整備課】 八景水谷公園内の池及び水路のヘドロについては、平成29年12月20日に堆積している区域の一部について除去作業を実施済み。その他の除去できていない区域については、除去方法等を含め検討後対応していく予定。</p>	都市建設局 上下水道局	北部土木センター 河川公園整備課 経営企画課
2	<p>○ごみ箱の設置について ごみ箱の設置を以前からずっとお願いしたいと思っていた。まちなかとバス停のいくつかの箇所ぐらいの間隔で、一つでもいいから設置してもらいたいと思っている。 書いてきたものがあるので、あとで読んでもらいたい。</p>	<p>【市長】 熊本はゴミが少ないという声を、県外から来られた方によく言われる。それは、ごみ箱がないから簡単に捨てないということもあるのかもしれない。 ごみ箱を置くとした場合、まちなかのごみが増えるかもしれないということも念頭に置いて、適正な場所や配置、どうやってゴミを回収していくかなどを検討しなければならない。 いただいたデザイン案も参考に、まちなかのゴミをどうするか考えていきたい。 また、ごみは持ち帰るという意識面での啓蒙を行わなければならないし、全体的なごみの量を減らすことも大事である。どうやっても捨てる場所がないという所もあるだろうから、検討していきたい。</p>	環境局	廃棄物計画課 ごみ減量推進課
3	<p>○自治会校区と行政区の区域について 壺川校区と行政区の区域を改修していただきたい。 既に一昨年の市議会でも取り上げていただいて、現在、行政区画と審議会で審議をされているが、私たちの要望とはかけはなれた方向に進んでいる。私たちは元々高平台校区だったが、平成26年に壺川校区を立ち上げた。その時点で政令市はスタートを切っていたので、校区としては中央区にあたるが、北区のままの状態が現在も続いている。 政令市になるときの基準として、「住民自治を尊重する観点から、地域コミュニティの中心組織として機能している自治会・区長会の組織については、問題ないよう配慮する。小学校の通学区域については分断しないようにする」との基準でスタートしたかと思う。 校区と行政区の不一致ということから、現在もさまざまな問題がでてきている。例えば、中央区であるドンドン語ろうの件は自治会を通じて配布されるが、北区からは何も案内がない。また、中央区だよりと北区だよりと一緒に配布される。このほかにも、消防団の管轄や警察署の管轄などの問題がある。これは、校区による行政サービス区画と、行政による区画の不一致から発生している問題である。まちづくりは中央区で行っているのだから、中央区のまちづくりセンターとは関わりがあるが、北区のまちづくりセンターとは全く接点がない。こういった問題についてどうぞ配慮していただきたい。</p>	<p>【市長】 壺川校区の方からは、従前から話を聞いていて、その経緯も市のオンブズマンから聞いている。現在は、審議会で検討中で、今年度中に議論を経て個別に答申が出てくると思う。 いただいたものを元に、行政区画の変更に関する基準を作成する。保田窪の一部もそうだが、2つの地域の変更要望については、基準に基づいて個別にこの審議会で審議をしていく。 行政区というのは、選挙区が変わる等の課題があるので、簡単に変えられないが、最終的にどうすべきかということは、行政でしっかり判断していかなければならないと思っている。 今は、審議会で諮問中であるため、申し上げられないが、答申後に行政でしっかり判断していきたい。また、本日ご意見でいただいたように、さまざまな問題があるということも、審議会で認知してもらって、しかるべき結論がでるようにしていきたい。</p>	市民局	地域政策課

「ドンドン語ろう！ in清水」 平成29年10月27日 清水まちづくりセンター 意見交換内容 参加者：48名

No.	ご意見	回答	局	担当課
4	<p>○市議会議員の暴言・恫喝について 市議会議員の暴言や恫喝という話を聞くたびに、非常に腹が立つ。市長は、市議会と行政側なら行政側に立つべきで、最後の砦は市長だと思う。 今後、そのようなことがあったなら、動画などを出してもらえば、次は落選すると思うので、やってほしい。</p>	<p>【市長】 節度ある市議会議員（以下、議員という。）と行政の関係が、非常に重要である。 行政の幹部メンバーに、縦割り行政も良くないが横槍行政は絶対に許されないと伝えている。横槍が入ることで、行政側が肅々と執行しようとしている事業が阻害されることがあってはならない。しかし、議員を責めるばかりでなく、行政側にもそういったことを許してきた土壌があると思うので、それをさせないルール作りを行っている。 そこで、平成27年4月に、「不当要求行為等防止対策会議」を設置した。議員からの暴言などがあった場合、現在は、メモや記録をきちんと取ることにしている。このような取組もあって、現在は暴言や恫喝などは行われていないが、仮にあった場合は、改善要請等を行い、オープンにする。改善要請等や報道などがなされることで、市民の皆様が判断することになるだろう。 議員の支持者のためではなく、地域や市全体のために、議会というオープンな場で、徹底的に問題点を深めていく。暴言や恫喝などを許さない組織風土を作っていく。</p>	総務局	総務課
	<p>○地域担当職員について 清水管轄には地域担当職員が2名いるが、活動状況があまりよく見えない。 私達の町内会は、毎月第1木曜日に役員会を行っている。毎月とは言わないが、半年に1回ほど来て役員と意見交換をすれば、効率よく情報を集められると思う。検討してほしい。</p>	<p>【市長】 地域担当職員を設置した4月から半年が経った。地域に顔を出す回数やどういう風に回るのかなど、さまざまなやり方があると思う。 町内の会議に参加することで課題がよく分かる、というご意見をいただいた。地域担当職員の参考になったと思う。今後も、地域の皆様のお力添えで、どうか地域担当職員を育てていただきたい。</p>	北区役所	清水まちづくりセンター
	<p>○ふるさと納税について ・熊本市のふるさと納税の状況と推移を教えてください。</p>	<p>【政策局長】 ・返礼品のある、「ふるさと納税」に関しては、昨年度は80万件の180万円程度であった。 ・一方で、別途、熊本城復元や復旧に係る一口城主・復興城主等で約10億円、更に全国から地震義援金として県全体で数百億円、熊本市独自で20数億円が届いている。これらは全て広い意味でのふるさと納税であるので、熊本地震に対するお見舞いを含めて、相当の支援をいただいている。 【市長】 ・地震のあと、（広義の）ふるさと納税が急激に増加した。災害時にふるさと納税は非常に役に立つということだ。 ・返礼品競争はおかしいのではという国の方針には、私も同感であり、節度ある仕組みであるべきである。モノの見返りで納税する仕組みではなく、災害時など困ったときにふるさとを助けよう、盛り上げていこうという仕組みを、広報を含め、これから考えていきたい。</p> <p>-----</p> <p>【財政課追記】 ・ふるさと応援寄附金（返礼品のある「ふるさと納税」）の件数と金額 → 平成28年度：1,399件 91,824千円 ・「復興城主」制度（旧「一口城主」制度）の件数と金額 → 平成28年度：53,230件 889,790千円 ・熊本城災害復旧支援金の件数と金額 → 平成28年度：10,923件 1,589,621千円 ・熊本地震復旧・復興寄附金の件数と金額 → 平成28年度：3,029件 908,205千円</p>	財政局	財政課

「ドンドン語ろう！in清水」 平成29年10月27日 清水まちづくりセンター 意見交換内容 参加者：48名

No.	ご意見	回答	局	担当課
4	<p>○若者の選挙について 学生達と話す機会を持ちたいと市長がおっしゃった。 その際、選挙に行ってもらおうと言ってほしい。20代の方が10代より投票率が低いと聞いている。企業にも選挙に行くよう働きかけてほしい。</p>	<p>【市長】 ・選挙に行くよう、若い方への広報が大切であるとのことのご意見かと思う。おっしゃるとおりである。 ・選挙については、教育などで、早いうちから教える必要があると思う。私もツイッターを利用し、若い方に選挙に行くように啓発をしている。 ・その一方で、テレビ等では議員の不幸事ばかり報道しており、若者はますます政治や選挙から遠ざかっていく。 この議員はこういう活動をしてこういう発言をしたからこういう風になりましたというような報道がされると、議員の活動が見え、自分達の生活に議員の活動や発言が直結している、この議員は自分たちの代弁者である等と、若い方達が実感できるようになるだろう。政治家の側も、有権者との距離を縮めていく努力は必要だ。 ・企業に対しても、従業員に選挙へ行くよう働きかけをしてはいかがかとの提案であった。選挙管理委員会とも話をして考えていきたい。 ・なお、選挙事務は、民主主義の根幹を支えているものである。公正に緊張感をもってあたりたい。</p>	選挙管理委員会事務局	選挙管理委員会事務局
5	<p>○LEDの防犯灯取替について 3年前3町内は170灯防犯灯があった。LED取替に係る必要経費の半額を、市が出すとのことだったので、町内では20灯ずつ8年計画で取り替える計画を立てた。 最初の年度に、補助金で20灯を取替えた。翌年度は、予算がないので抽選という話になったが、幸い20灯交換できた。3年目は、この補助金をあと3年で打ち切るので50～60灯分の補助金を出してもよいと言われたが、3町内にそこまで申請できる余裕はない。今年も補助金で20灯交換を進めているが、100灯替えたところで打ち切られるので、それから先は町内で10灯ずつ自費で取り替えるしかないと話しているところだ。 そこで、再来年から防犯灯に対する補助をお願いしたい。</p>	<p>【地域政策課】 ・LEDへの取替補助のほか、電気料補助も行っている。ランニングコストと自治会の負担を考えると、なるべく早く電気料の安いLEDに替えていただく方がよいのだが、申請が予算額を上回ったため、平成27年度は抽選となった。そこで、平成28年度から予算を増額し、平成30年度の3ヶ年までの補助制度とした。 しかし、今回お話を伺ったように、城北校区のような事情を持つ自治会があるということ、担当部署にお伝えする。 【市長】 ・地域の実情に合わせた制度にしたい、そして、予算を有効に活用したいと思う。ただ、みなさんに早く替えていただきたいという理由があってこのように予算措置していることもご理解いただきたい。</p>	市民局	地域活動推進課
6	<p>○地域イベントで発生するごみについて ・私達の校区では、毎年まちづくりでわくわくふくしまつりを行っていて、とても賑わっている。これについて、お願いしたいことが、ごみをボランティアごみで出せないかということだ。 市を訪ねると、規則がどうだと説明をされる。ボランティアごみ扱いとなれば、当方としてもごみ処理代を5万円くらい抑えられる。これは、その日にごみ収集車にきてほしいという要望ではない。ごみは、収集日まで一時的に町内で保管しておくので、収集日にごみ置き場にボランティアシールを貼って出したいというお願いである。検討してほしい。</p>	<p>【市長】 ・イベントでのゴミ問題は各地域で起こっている。 【環境推進部長】 ・ボランティアシールは、ご存知のとおり、地域でボランティア活動をした際にシールを貼って無料で回収するという制度である。 イベントで出たごみでも、中には出店した店のごみが出てくるケースがある。こういったごみは事業系ごみであり、店に責任を持って処分していただくことが、基本的な考え方になっている。 ・今回の要望は、片付けの際などイベントそのもので出てきたごみの話だと思う。私達ごみ行政は地域の皆様のご協力の上に成り立つものであり、地域力を活性化させるという意味で、できるだけ意向に沿えるような形を考えたいと思う。事前に相談をいただいて、できるだけ協力をしたい。 【市長】 ・ごみの中でもそういった仕分けがあるので、ぜひ、事前に地域担当職員や環境部局にお知らせいただき、相談いただければと思う。</p>	環境局	廃棄物計画課

「ドンドン語ろう！ in清水」 平成29年10月27日 清水まちづくりセンター 意見交換内容 参加者：48名

No.	ご意見	回答	局	担当課
7	○国の補助事業について ・政令指定都市になって行政的に範囲が広がった。国の補助も直接要求しなければいけないことがあるかと思う。担当部局で国の補助事業について精査し、やれることはないかと常に追い求めていただくことが大きなお金を持つてくることにつながるのではないかと思う。	【市長】 ・政令指定都市になり、国と直接的なやり取りをすることが非常に増えた。私自身も、政令指定都市市長会の防災担当特命市長になり、内閣府とのやり取りを20政令市の代表として行っている。財政的な措置や規制緩和していただく部分など、直接お願いするところはしっかりやっていく。自治をあずかる人間として、ただ国からお金をもらってくれば良いというわけではなく、その上でどうやって国民の税金である財源を効率的に効果的に使っていかを考えていかなければならないと思っている。	財政局	財政課
	○坪井川の遊水地について ・6年ほど自治会で行っているボランティア活動の中で、6～800メートル堤防に植えられているコスモスを駆除している。 ・坪井川遊水地の活用ということで、冬にはジョギング大会など企画しているが、まずトイレがない。最初のスタートとして、駐車場とトイレを作ってもらえると、交通に支障がなくイベントを行えると考えている。 ・市内でバーベキューをしようと思ったときに、開放されている公園は石神山公園のみであるため、この遊水地でできるのではないかと期待している。 ・ゆくゆくは、県が管理しているものを市が管理して、八景水谷に負けないような場所になればと思う。	【市長】 ・平素から地域でボランティア活動に取り組んでいただき、感謝申し上げます。坪井川の遊水地は、県の管理区間にある。野焼きをしていいとは言えない。県が河川管理者であるので、ごみについては県に処分をお願いしていただければと思う。 ・災害時には遊水地だが、平時には楽しんでいただく方法もあるのではないかと。国土交通省が行っている水辺に親しむ事業などがあるので、管理上の問題がさまざまにあるかもしれないが、県と市が協力しながらできることがあればやっていきたいと思っている。	都市建設局	公園課 北部土木センター河川公園整備課
	○山室から打越方面のバス道路について ・山室から打越方面に行くバス道路があるが、道路沿いから電通学園に行く道が狭くて非常に混み合うため、7、8年陳情している。 測量が終わったと聞いたので早急な着工をお願いしたい。	【北部土木センター長】 ・山室から打越方面のバス道路について、平成30年度から一部の区間について施工を始めようと計画をしているところ。	都市建設局	北部土木センター道路課
	○道路拡張要望について ・熊本市では、道路が狭いから拡張してほしいと要望すると、自治会長や関係者全員に同意を、狭ければ寄付同意をもらわなければならない。これは地元発起でやることになるが、簡単には実行できない。 安価でよいので用地を購入する処理になれば、比較的スムーズに処理されるのではないかと。 用地購入という手続きをとらないために、おざなりになって、問題を先送りすることになっている。このままでは相続人が増えますます処理が難しくなるなどの問題が発生するのではないかと。	【北部土木センター長】 ・未登記状態の道路用地が道路境界の立会やその他道路管理業務の過程において判明した場合は、その都度速やかに道路敷地寄附についての協議を行い、土地所有者のご理解ご協力のもと、土地所有権移転登記事務を進めているところ。 ・今後も、同様に未登記状況の解消を速やかに図ってまいりたい。 【市長】 ・できるだけ早く生活道路を整備しようということがあるので、ご指摘のことも含めて、もう一回都市建設局とも話をしていきたいと思う。	都市建設局	北部土木センター総務課

「ドンドン語ろう！ in清水」 平成29年10月27日 清水まちづくりセンター 意見交換内容 参加者：48名

No.	ご意見	回答	局	担当課
8	○八景水谷公園にウォーキングコース等を整備してほしい ・八景水谷公園に、ウォーキングコース・ランニングコース・ジョギングコースを作してほしい。広い公園なので、健康のために人がもっと集まるようなコースを作っていただきたい。線を引いて、何メートルなど距離を描くだけでコストはそんなにかからない。	【北部土木センター長】 ・八景水谷公園がウォーキング等で広く利用されていることは認識している。まずは、ソフト面で八景水谷公園の魅力発信ができるよう考えており、具体的には距離の表示など、既存の施設を利用する方向で公園のグレードアップを考えている。 【市長】 ・ランニングコース等を作るか作らないか費用の問題もあるが、みんなが快適に散歩をしたり、ジョギングをしたりと楽しめるような魅力アップを、できる範囲で土木センターと考えていきたい。	都市建設局	公園課 北部土木センター河川公園整備課
	○道路の草刈について ・山室橋から交番まで生活道路に雑草がかなり生えていたが、北部土木センターに年2回程綺麗にしてください。段差も解消し、スムーズに車が通れるようになった。 北部土木センターに、非常に感謝している。	【市長】 ・草刈については平素から土木センターによく言っているところ。 ・本市は、県から国道の管理を移管されている。しかし、管理する範囲はとても広がったものの、予算や人員が県から移されたわけではない。管理の手法も含めて、もっと効率良くできないか考えているので、新年度以降改善されていくと思う。	都市建設局	北部土木センター道路課
	○海釣り公園を整備してほしい ・海釣り公園を作してほしい。場所は熊本新港付近が一番いいと思う。海釣り公園は、福岡・鹿児島にはあり、熊本にはない。親子で楽しめ、人も集まり、経済効果もあるのではと思う。	【市長】 ・海釣り公園について、熊本新港の利活用という意味では大事なところで、今の活用がだんだん増えている。港は県の管轄なので、県に伝えたい。	都市建設局	公園課
9	○クスノキの伐採について ・町内の神社（大窪神社）の境内にある大きなクスノキが、ななめになっており上の方は枯れてきている。市に問い合わせをしたら、地元で伐採してくれとのことだった。胴周りが約3メートル、高さも相当あり、高齢者の多い地元では切れないので、よければ市で切ってほしい。 町内だけで伐採するとなると、莫大なお金がかかり、町内会費だけでは切れない。このままではいずれ倒れ、反対側ではあるが下にある神社の屋根が壊れるかもしれないので、市の方で現状を見てもらって判断してもらえたらと思う。	【北部土木センター長】 ・神社の中ということだが、道路上に倒れる危険性があるなど、条件があれば、市としても何かしらできる可能性がある。詳細な場所を教えていただければ、土木センターの職員で現地を見させていただく。 【市長】 ・地域のみなさんに危険が及ばないようにするという事は非常に大事な事。道路にはみ出た危険木が管理されず、事故になったケースが市内で起こっているので、そのような対策も含めてしっかり考えていく。 【意見交換後の対応状況：北部土木センター道路課】 ・平成29年11月6日に地元自治会長及び神社宮司と立会いを行った。対象の樹木が倒木した場合、付近市道に危険性があると判断されるため、今後は北部土木センター道路課及び環境共生課と協力して対応していくことで了承いただいた。	都市建設局	北部土木センター道路課

「ドンドン語ろう！ in清水」 平成29年10月27日 清水まちづくりセンター 意見交換内容 参加者：48名

No.	ご意見	回答	局	担当課
10	<p>○下水道の整備について</p> <p>・池田と徳王の境に住んでいる。土木部署にも話が届いているかもしれないが、池田と徳王の間に500メートルくらい私道がはしっている。そのため、その付近に下水道が敷設されない。ただ、測量には何回かきている。市長が就任される前からこの話は出ているが、いつもどこかで止まってしまう。</p> <p>条例や道路行政など、どこかで誰かが決断をしてもらわないと、ずっと解決できないのではと思う。20年ほど住んでいるが、空き家も増え、家を建てる人も少なくなった。徳王の区長さんも一生懸命されて、4月から北部土木センターにも行ったが、その後どうなったかわからない。</p> <p>私有地を持っている人は、市に寄付しても構わないと思っている。決断をお願いしたい。</p>	<p>【北部土木センター所長】</p> <p>・私道があるため下水道が敷けないということであり、また、私道から市道へとなかなか認定されないとお話であるかと思う。何が原因で市道に認定されていないのかという点も含めて、のちほど詳細を伺いたい。公共下水道については、土木センターではお答えができないので上下水道局からお願いしたい。</p> <p>【市長】</p> <p>・お話を聞くと、上下水道局の管轄であろうと思うが、今日は上下水道局からだれも来ていないようだ。</p> <p>・どこで話が止まっているのかを含め、上下水道局や都市建設局に、私から話を聞いてみる。</p> <p>【上下水道局 計画調整課】</p> <p>・お尋ねの住宅団地については、以前からご相談いただいております。私道に公費で下水道を布設するための事前調査依頼を代表者様から提出していただき、公費で工事をするための条件について回答させていただいております。</p> <p>・送付した回答では、一部道路において、分筆されていない土地や、地目が公衆用道路となっていない土地が含まれているため、地元で法務局へ登記の変更をしていただく必要があり、これが解決できれば、下水道を公費で布設することが可能となる。</p> <p>【意見交換後の対応状況：北部土木センター総務課】</p> <p>・改めて、市道認定及び下水道敷設における現状についての説明並びに地元の話を行うために、北部土木センター総務課、上下水道局計画調整課及び地元の方々(自治会長2名、発言者、地元代表者の計4名)の協議の場を平成29年12月7日(木)に設けた。</p> <p>・この協議を踏まえ、再度現地調査を行い、認定の可能性について、地元の説明を行う予定である。</p>	<p>都市建設局</p> <p>上下水道局</p>	<p>北部土木センター総務課</p> <p>計画調整課</p>
11	<p>○小学校のトイレの洋式化について</p> <p>・小学校のトイレの洋式化について、実現の見通しはいかがなものか。</p>	<p>【市長】</p> <p>・小学校のトイレの洋式化は、是非進めていきたいと思っている。</p> <p>・トイレについては、児童・生徒のためだけでなく、学校が避難所になることを考えたとき、高齢者の方や障がいをお持ちの方にとって和式トイレは大変であるので、内部で検討をしている。</p> <p>しかし、莫大な予算がかかるので、国の補助メニューなどを要望しながらできるだけ整備をしていきたい。全てを洋式化にすることは困難だが、洋式トイレの箇所を増やしていきたいと考えている。</p> <p>同時に、災害用のマンホールトイレも増やしたいと考えている。これが震災時で水が出ないときにおおいに役に立った。このようなトイレの整備も考えているところである。</p>	<p>教育委員会</p> <p>上下水道局</p>	<p>施設課</p> <p>管路維持課</p>
	<p>○自治会の担い手育成について</p> <p>・自治会長になることに関して、高齢化が自治会長でも進んでいる。今は65歳が定年だが、これから先もっと伸びていく可能性もある。そういうときに、次に誰にバトンタッチするのは簡単ではない。今、だんだん働く人が増えている中で、新しい人にバトンタッチすることが難しい状態だ。</p> <p>そこで、例えば、市役所を退職した方々に自治会長の任を担うよう積極的にすすめてもらえないだろうか。</p>	<p>【市長】</p> <p>・自治会長の高齢化が進んでいくだろうというお話だった。勤め人の定年が今までより長くなれば、地域の担い手はどうするのかという問題が出てくる。</p> <p>人材の高齢化の課題は見えているので、市のOBの活用も含めて、しっかり考えていきたい。</p> <p>・草取りなどの役務を地元でやっていただけるような仕組み作りを今考えているところ。</p> <p>・どういう形で実施するか、委託していくのかなど、やり方を含めて、民間や地元でお願いできるものはぜひやっていただければと思う。</p>	<p>市民局</p>	<p>地域活動推進課</p>

「ドンドン語ろう！ in清水」 平成29年10月27日 清水まちづくりセンター 意見交換内容 参加者：48名

No.	ご意見	回答	局	担当課
11	<p>○地域の除草について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私達の校区は、傾斜地に作られた団地である。そこに草が生え、年に数回除草をお願いすることがあるが、その除草の労働を現地に住んでいる地元の方々に委託をするということとはできないか。 ・時間があ、何かしたいなと思っている高齢者の方がある。そこに予算がつき、除草に対する報償が加味されれば、そういう方の励みになるし、その収入を地元で使うということができる。 ・検討いただきたい。 	<p>【北部土木センター長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その傾斜地は道路敷地内であるため、まずは、北部土木センターにお電話いただければと思う。 <p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所が店の前の歩道の除草を行うなどはよく見る光景でもあり、民間にお願いできる箇所はご協力いただきたいと思います。 ・しかし、中央分離帯や傾斜地など危険が伴う場合は、問題がある。 ・現在、全体的な管理のあり方について検討を進めているところだ。 <p>【意見交換後の対応状況：北部土木センター道路課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年11月28日に地元自治会長と北部土木センター道路課で要望箇所の立会いを行ったところ、市道区域内であった。しかしながら傾斜地であり地元の方々にお願いするには危険が伴う箇所であったため、次回から北部土木センター道路課へ依頼をしていただくことで了承された。 	都市建設局	北部土木センター道路課 道路整備課
12	<p>○交通弱者に優しい交通体系について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以前、弱者に優しい交通体系ということで障がい者の方と一緒に、低床電車やバスの導入を市に働きかけたことがある。それが実現され、喜ばしく思っている。 ・電車は、大量に・安全に・正確に人を運ぶということから、大変有意義な乗り物であり、交通渋滞の緩和にも役立つ。環境にもやさしい。 ・清水地区にはそのような電車が私鉄であるが走っている。低床電車を市電に導入する前から、プラットホームはスロープを設けて車椅子が乗り込めるようになっていた。このようないいこと尽くしの電車だが、先日の市議会では却下されている。却下の理由の一つとして、他の市町村に市の税金は使えないというものだった。 ・後期高齢者などの交通弱者が利用する唯一の電車が、うまく利用されていないと思う。もっと利便性をあげてほしい。菊陽の住民の方も、電車を利用して、市中心街に買い物に来るようになるだろう。 	<p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清水地域は電車が走っていて便利な地域であるが、これが活かされていないところがあると思う。利用はあるが、もっと利便性を高めようというお話かと思う。 ・私も、市電の延伸などマニフェストにかかげて取り組んでいる。しかし、財源の問題もあるが一朝一夕にできる話ではない。 ・電車は高齢の方や子育て世代・若い方にも優しい乗り物である。昨今、車の事故も多く、免許を返納されようとする高齢の方もいる。そのとき、バスの本数が少なかったり路線が廃止になっていると、非常に困るだろう。 ・ヨーロッパでは、路面電車がどんどん広がって増やされている。今ある財産をしっかりと使うこと、さらに乗り換えなどの利便性を高くすることなど考えていく。 ・電車においても、電車、バスも含め、民間と市とのあり方もさまざまだが、大胆に路線の管理や運行を一元にしていこうことによって、効率化できるのではないかと総合的に考え、交通が整備されると、車や道路の負荷が減り、道路の渋滞が緩和されていくと思う。 	都市建設局	交通政策課